

# 日赤なごや

**+** 名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院  
救命救急センター・総合周産期母子医療センター  
地域中核災害医療センター  
造血幹細胞移植推進拠点病院



Vol. 54  
2016. Autumn



## Professional Style

濱嶋 なぎざさん

## Medical Frontier

輸血部 部長  
小澤 幸泰医師

### ふれあい通信

- 当院の品質向上のための取り組みが評価されました  
「人間ドック健診施設機能評価認定施設」の認定
- 美しい調べに心ときめくひとときでした  
「なごやかコンサート」を開催!

### おクスリ豆知識

喘息のくすりについての話



# Professional Style

プロフェッショナル  
スタイル

Vol.54

表紙のひと  
がん相談支援センター  
がん化学療法看護認定看護師

はましま  
看護師長 濱嶋 なぎささん

相談無料

プライバシー  
厳守

## がんと関わる すべての方の 思いをつなぐ窓口です。



**大切な家族だからこそ、  
言葉にできない声もあります。**

がん相談支援センターは西棟1階の患者相談室にあります。「がんかもしれない」不安な時期から治療、手術、緩和ケアまで、患者さんやご家族のあらゆる疑問やお悩みを相談員がお受けして、ともに考え、前に踏み出すお手伝いをしています。

がんと言われたその日から、多くの患者さんの人生はがらりと変わります。ご家族のこと、お仕事のこと、医療費や今後の生活のこと…。様々な決断に迫られるとともに、病気への不安や恐怖も押し寄せます。考えて、考えて、最善の方法を選択しても、いざ治療をはじめると「本当にこれでいいのか」と迷い、症状や副作用が辛くなれば、「途中で治療をやめたいけれど、家族や先生に申し訳なくて言い出せない」と涙する患者さんもおられます。そし

て、ご家族もまた様々な苦しみを胸に秘め、患者さんを支え続けます。

そんな時、この窓口で「心の声」をはき出せば、気持ちの整理や解決の糸口が見えてくるかもしれません。

地域がん診療連携拠点病院である当院には、各科の専門医や認定看護師をはじめ、薬剤師、ソーシャルワーカーなど、診断から治療、緩和ケアまで専門職員が揃っています。患者さんの力になりたいと願うスタッフと、痛みや不安を抱えた患者さんやご家族との思いをつなぎ、正しい知識と情報で、安心や癒しの環境をお届けするのが、私たちの役割です。

**がんとともに、自分らしく生きる。  
そのためのサポートを。**

がんは生涯で2人に1人はかかると言われる、身近な病気です。しかし、実際にご自

分ががんと告知されると、多くの方は動揺し、「がんになったら何もできない」「髪の毛が抜けたら、自分じゃなくなる」と、マイナスの要素を数えて落ち込む傾向があります。私たちは、そのエネルギーをプラスの力に替えていきたいと願っています。

これまでとは異なる岐路を迎えた今だからこそ、見えてくるものがあるはずです。例えば、ご家族との関係を見直すきっかけとなったり、ご自分にとって本当に大切なものに気づいたり…。そのひとつひとつの希望の種と一緒に探し出し、患者さんがご自身の力で芽吹かす機会となるような、そんなコミュニケーションをめざします。

「がんになっても、私は私。それでいいのよね」と再び笑顔を取り戻せるように、私たちは真心込めて患者さんを支援しています。

他院の患者さんもお気軽に。

**052-485-3503** (直通電話)  
月～金曜日/8:50～17:20

## おクスリ 豆知識

第41回

### 喘息のくすりについての話

季節が変わり、朝晩の気温も少しずつ下がってきて、過ごしやすい季節になってきました。夏の間は落ち着いていた咳が、冷たく乾燥した空気を吸い込むとそれが刺激となり、秋は四季のなかで特に喘息発作が起こりやすい季節でもあります。今回は、喘息のくすりについてお話をします。

喘息は、空気の通り道である気道に炎症が起きることによって、さまざまな刺激に敏感になって気道が狭くなり、咳や喘鳴(ゼーゼー、ヒューヒューという音)を伴って息が

苦しくなる病気です。現在、喘息のくすりは、炎症を抑える、狭くなった気道を広げる、または、アレルギー反応を抑えるなどの作用があり、また吸入薬・内服薬・貼付剤などの薬剤が発売されています。また、喘息の治療は、喘息の発作が起こらないように管理していく薬剤と、起きた発作をおさえる薬剤の2種類を使用することが一般的となっています。

内服薬は体全身に作用することに比べ、吸入薬は気管支のみに作用することから、

比較的副作用が少ないといわれています。反面、吸入薬の使用については、ある程度の練習が必要ですが、現在では、治療の主流となっています。また、忘れがちなことですが、吸入薬の使用後は、口の中に残った不要なくすりが副作用の原因になることがありますので、うがいによって出すことが大事です。

これから過ごしやすい季節となりますが、いま使用している薬剤を確認し、上手に使用して、喘息発作のない良い季節を送りましょう。

## 年間約100万人の患者さんが「輸血」治療を必要としています。

### 「自己血」輸血なら、感染症や副作用の心配がありません。

事故や手術で大量出血したり、血液の病気になると、輸血が必要になります。その時、血液の型や抗体など患者さんとの適合性を検査して、安全な輸血を管理するのが輸血部の役割です。

輸血には、ボランティアによる「献血」と、患者さん本人の血液を用いる「自己血」輸血の2種類があります。

以前は献血由来の輸血というと感染症が懸念されましたが、スクリーニング検査が進化した現在、肝炎やHIV等のウイルスが検査をすり抜ける可能性は非常に低くなりました。また、輸血後も定期検査等、対策がとられています。

それでも特に現在の課題は副作用です。微熱等の軽微な症状から、呼吸障害等の重篤な症状まで様々。当院では、各部署が連携しデータを共用することで、リスクを最小限に抑えています。その結果、深刻な副作用は近年起こっていません。

「自己血」輸血は手術の前に患者さんの血液を採っておく方法です。本人の血を輸血するため、副作用等の心配がなく、安全な輸血と言えます。当院でも条件があう患者さんに採用しており、今年は約150件の実績(1~8月)があります。整形外科や産婦人科等の手術で多く施行されています。

### 輸血の多くは、抗がん剤など病気の治療に使われます。

血液は、酸素を運ぶ赤血球や細菌と

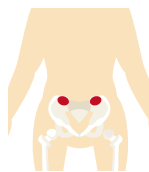


輸血部 部長  
日本輸血・細胞治療学会 認定医  
おざわ ゆきやす  
小澤 幸泰 医師

戦う白血球、止血する血小板、血しょう等で成り立っており、輸血の際はそれぞれの特徴を生かした製剤を用います。

また、血液は長期保存ができないため、輸血に必要な成分を血液型ごとに備えておく必要があります。

そこで、近年、献血では、血液の中から必要な成分を採取し、他はドナー(提供者)に戻す「成分採血」が主流となっています。全身に流れる血をそのままいただく「全血採血」に比べ、「成分採血」は所要時間が長くなりますが、採血の総量は少なくなるため、ドナーの方の体への負担は軽減されます。



#### 骨髄移植

ドナーの腰の骨から採取した造血幹細胞(骨髄液)を患者さんに点滴で移植する



#### まっしょうけっかんさいぼう末梢血幹細胞移植

薬をドナーに注射して骨髄にある造血幹細胞を増やし、血液中の造血幹細胞を腕の血管から集め、患者さんに点滴で移植する

### 造血幹細胞移植にも力を入れています。

白血病などの患者さんには、血液内科と連携し、造血幹細胞移植(骨髄移植)を行っています。当院の骨髄移植の歴史は古く、骨髄の採取も移植も全国有数の実績\*です。

骨髄は血液の一種で、腰等の硬い骨の中にあり、赤血球や白血球を造ってくれる「造血」幹細胞を含みます。

従来は、全身麻酔をかけて注射器で骨から吸い出す手術を行いますが、幹細胞は全身を流れる血液(末梢血中)にもあるため、「成分採血」の器械を使って成分献血のように採取することもできます。

ドナー(提供者)になるには骨髄バンクへの登録が必要です。現在、登録者は約40万人。白血球(HLA型)の適合率は9割と高いのですが、実施まで時間がかかるため、実際の移植率は7割弱です。若い世代の登録が増えれば、今後、助かる患者さんの数も増えていきます。「いつもの献血+2ml」で皆さんも骨髄移植に協力できるというわけです。

献血や骨髄バンクの啓蒙を含め、これからも、輸血部でできることを一つ一つ実現していきたいと考えています。

\* 全国初の造血幹細胞移植推進拠点病院に認定(2013年)



# ふれあい通信

Topics

1

## 当院の品質向上のための取り組みが評価されました 「人間ドック健診施設機能評価認定施設」の認定

8/27

当院健康管理センターは、受診者の皆様に安心して健診を受けていただくことを目的に、平成28年6月24日に日本人間ドック学会による機能評価を受審し、この度、8月27日「機能評価認定施設」として認定されました。

(認定期間：2016. 8. 27～2021. 3. 31)

この機能評価は、「施設の体制」「受診者の満足・安心」「人間ドックの質」について審査され、日本人間ドック学会が定める審査基準をクリアし、優良と認められた施設が「機能評価認定施設」として認定されます。

なお、認定の更新については、5年ごとに審査が行なわれます。

今後も疾病の早期発見や予防につながる、安心・安全で質の高い健康診断の提供と良質なフォローアップに努め、更に改善に取り組んでまいります。

是非、当院の人間ドックを皆様の健康維持・増進にお役立てください。



このプレートが  
安心と信頼の証です

Topics

2

## 美しい調べに心ときめくひとときでした 「なごやかコンサート」を開催!

8/15

平成28年8月15日(月)に西棟1階ホスピタルモールで「なごやかコンサート」を開催いたしました。

このコンサートは、フルート・オカリナ奏者の加藤由記さんのご厚志により開催されているもので、9回目となる今年は、加藤さんの他に音楽療法士として活動されているソプラノ歌手山田広美さん、ピアニストの木須康一さんをお迎えし、アンコールも含めて全10曲を披露していただきました。

「童神」から始まり、「美女と野獣」、「命の歌」、「You Raise Me Up」、の他にピアノのソロ演奏「黒鍵のエチュード」も織り込んだ予定のプログラム9曲終了後、アンコールに応じて中島みゆきさんの「糸」を来場者と共に披露していただきました。

加藤さんのフルートやオカリナの音色もさることながら、山田さんの迫力ある歌声が3階まで吹き抜けとなっているホスピタルモールに響き渡りました。

入院・外来患者さんだけでなく地下鉄利用者、近隣の方などお盆であったにも関わらず150名を超える来場者がありました。



Information  
お知らせ

# ピンクリボンフェスティバル 2016を開催します!

入場  
無料

当院では、毎年ピンクリボン月間である10月にピンクリボンフェスティバルを開催しています。乳がん検診が有効であることを紹介し、多くの方に検診を受けていただくよう啓発する活動です。

今年は10月29日(土)12:30に開場。昨年に引き続きがん研有明病院乳腺外科部長の岩瀬拓士医師のほか、美容ジャーナリストの山崎多賀子さん、中村区の女性漫才コンビ BE WONDERをお迎えし、内ヶ島講堂で講演、フリートークなどを行います。

そのほか、マンモグラフィー撮影室見学や自己検診レクチャー、アロマテラピー、骨密度測定、同朋高校生とのコラボ企画もあります。お誘い合わせのうえ、ぜひお越しください!

- 開催日** 平成28年10月29日(土)
- 時間** **開場** 12:30 **終了** 15:30
- 会場** 東棟2階 内ヶ島講堂



## 中国琵琶コンサート

中国琵琶の第一人者・涂善祥(ト・ゼンショウ)さんと、奥様でありソプラノ歌手でもある矢野留美さんをお迎えし、今年も中国琵琶コンサートを開催いたします。  
中国琵琶の独特な調べと心地よい歌声をぜひ会場でお楽しみください。



- 開催日時** 平成28年12月19日(月) 15:00~
- 場所** 西棟1階ホスピタルモール

## がんサロン「コスモス」 開催のご案内

がんによる悩みや不安を自由に語り合う場、がんサロン「コスモス」を開催いたします。予定は下記のとおりです。ぜひご参加ください。

- 開催日** 平成28年  
10月25日(火)  
11月22日(火)  
12月27日(火)
- 時間** 15:00~16:30
- 会場** 東棟2階 会議室1



## 健康教室を開講します

参加  
無料

- テーマ** 「糖尿病」
- 座長** 内分泌内科部長 尾崎 信暁
- 講師** 内分泌内科医師 安田 寛子  
「高齢者糖尿病の特徴とその治療」
- 講師** 認知症看護認定看護師 岡田 朋子  
「今すぐ認知症予防に取り組もう!」
- 開催日** 平成28年11月14日(月)
- 時間** 14:00~16:00
- 会場** 東棟2階 内ヶ島講堂



# 外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。 2016年10月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金	
内	血液	小澤	森下	宮村	小澤	宮村	
		尾崎	佐藤	川島	中島	池野	
		—	PM 中島	加賀谷	PM 森下	—	
		PM 吉野	PM 大引	PM 佐藤・池野	—	PM 加賀谷	
	内分泌	清田	安田	尾崎	尾崎	清田	
		柳沼	岡崎	—	渡邊/PM 吉藤	柳沼	
	腎臓	遠藤	市田	青井	今井	市田	
	神経	真野 PM 森/小森	中村	後藤	真野	後藤	
		馬淵	田中	馬淵	渡邊	田中	
		渡邊	村尾	小森	森	村尾	
循環器	神谷	交代/(花木)	神谷	柴田	柴田		
	光田	嶋野	清水	近藤	森下/(交代)		
	野村	岡部	安田	—	尾崎		
呼吸器	新患	青山	横山	田宮/西山	野村	高納	
	再診	野村	佐野/PM 西山	青山	横山	野村	
消化器	—	篠塚/PM 高納	PM 木村	高納/PM 篠塚	横山/PM 田宮		
	土居崎	春田	鷺見	山口	春田		
	大橋	山口	村手	西尾	土居崎		
	鷺見/PM 高野	西尾/PM 青井	長谷川	村手/PM 河村	青井		
総合診療	河村	PM 橋口	橋口	PM 長谷川	PM 大橋・八田		
	大庭	松久	隔週第1・3・5 PM 大庭	PM 榛葉	—		
小児科	午前	福見	加藤(病)	安田	鬼頭	岸本	
		落合	大城	坂口	福見	八田	
		濱口	大萱	三井	加藤(病)	竹内	
		浅井	橋本	水谷	(交代)	濱崎	
		—	—	—	—	北井	
	午後(専門外来)	循環器	羽田野	—	—	羽田野	—
		血液	—	加藤(病)	PM 土居崎	吉田	(交代)
		神経	—	—	竹内	大萱	夏目
		腎臓	—	渥美	—	—	—
		新生児発達	鬼頭	中山	新井	安田	大城
フォローアップ	神澤	田中	—	—	—		
予防接種	—	—	濱口	—	加藤(病)		
乳児健診	(交代)	(交代)	—	—	—		
小児内分泌	—	—	—	—	八田		
アレルギー	(交代)	—	—	—	—		
●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。							
外科	一般消化器外科	宮田	竹内	湯浅	永井	宮田/永井	
		三宅	吉岡	奥野	毛利	三宅	
		前田	長尾	浅井	深田	南	
	乳腺内分泌外科	PM 加藤(病)	—	—	PM 竹内	—	
		—	山崎/PM 後藤	後藤	後藤・田中	PM (交代)	
	心臓外科	澤木伊藤(新患)	(交代)・伊藤(新患)	前川	柳澤	所	
	血管外科	—	山本	錦見(新患)	徳永	—	
呼吸器外科	森	森/PM 森	岡阪	—	森		
小児外科	加藤(病)	—	—	—	PM 金子		
禁煙外来	毎週火曜日(13時~15時) 石川						
形成外科	林/足立	—	林	—	足立		
整形外科	新患	田中	山賀	長谷	小野田	杉浦	
		大澤	堀井	井上	堀井	大澤	
	再診	井上	山本	八木	洪	石川	
		洪	石川	山賀	山本	八木	
—	小野田・田中	—	杉浦・長谷	—	—		

診療科目		月	火	水	木	金
脳神経外科	稲尾	(交代)	稲尾	(交代)	岡本	
	服部		—		—	
	木部		波多野		藤谷	
皮膚科	西田	澤田	澤田	澤田	澤田	
	南部	西田	西田	西田	西田	
泌尿器科	(交代)	南部	南部	南部	南部	
	服部	平林	鈴木(弘)	鈴木(弘)	服部	
女性泌尿器外来	鈴木(省)	—	永山/松井	佐野	平林・松井/永山	
	加藤	加藤	鈴木(省)	加藤(新患)	—	
●新患は(木)にご来院ください。						
産婦人科	新患(産・婦)	柵木・安藤	栗林・一	古橋・一	手塚・齋藤	柵木・一
	再診	長尾/PM 三澤	水野/PM 齋藤	坂堂	三宅	西子/PM (交代)
	生殖内分泌内視鏡	齋藤	安藤	—	安藤	安藤
	化療外来	—	(交代)	(交代)	—	(交代)
	妊婦診	古橋	栗林	宇佐美	猪飼	手塚
パースセンター	PM 猪飼	福原	—	PM 福原	PM 柵木	
	—	手塚	—	栗林	—	
眼科	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師	
	佐藤	(交代)	佐藤	(交代)	小林	
耳鼻咽喉科	新患	寺田	鈴木(淳)	柵植	伊藤	小林
	再診	柵植	寺田	寺田	柵植	伊藤
リハビリテーション	—	—	—	—	—	
	大西	—	大西	—	大西	
放射線科	石川	洪	堀井	大澤	山本	
	山田	山田	山田	山田	山田	
歯科口腔外科	平澤	平澤	平澤	平澤	平澤	
	●詳細は受付にお問い合わせください。					
緩和ケア科	新患	大岩	佐藤	(交代)	野田	(交代)
	再診	佐藤	大岩	—	大岩	—
緩和ケア科	野田	野田	—	佐藤	—	
	佐久間	佐久間	—	佐久間	—	
緩和ケア科	早川	早川	—	早川	—	
火曜日 PM 河合 水曜日 PM 湯浅						

## 外来診療のご案内

- ◆初診 …………… 総合案内で『診療申込票』に必要事項をご記入の上、保険証・(初めて受診される方) 紹介状・各種医療証書を添えて、新患受付にお出ください。
- ◆診療受付時間 …… 午前8時20分～午前11時 (緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- ◆休診日 …………… 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日～1月3日) 日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ◆セカンドオピニオン 専門外来 …………… 詳しくは患者相談室までお問い合わせください。 患者相談室 電話052-485-3503(直通)

お問い合わせ先 **052-481-5111** (代表)



当院は、病院敷地内全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 人間ドックのご案内

年に一度の健康管理をしてみませんか?

- ◆健康管理センター …… 電話にてお問い合わせください(予約制です)
- ◆受付時間 …………… 月～金曜日(休診日を除く)午前8時50分～午後5時20分 電話052-471-3855(直通)

休診情報はホームページでご覧いただけます。

<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

TOP » 外来のご案内 » 休診情報



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社  
NIPPON RED CROSS SOCIETY

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地  
TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733  
<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

## 理念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

## 基本方針

- 1 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
- 2 高度・良質で安全な医療をいたします。
- 3 災害救護活動を積極的に行います。
- 4 周産期・小児及び救急医療を充実します。
- 5 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
- 6 職員の教育・研修を推進します。
- 7 健全経営を維持するように努めます。

## 臨床研修の理念

医療に必要な不可欠な知識や技術の習得により、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る能力を身につけることを目的とする。名古屋西部という都市部における社会構造・高齢化など地域にとって必要な医療を理解し、在宅医療などの社会医療サービスとの連携をはかり、地域医療貢献の修得を目的とする。